

(案)

平成30年 月 日

愛知県環境影響評価審査会
会長 松尾直規様

愛知県環境影響評価審査会
知多南部ごみ処理施設部会
部会長 成瀬一郎

知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広域環境
センター整備事業に係る環境影響評価準備書について（報告）

平成30年1月26日に審査を付託されたこのことについては、別添のとおりです。

知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広域環境センター整備事業に係る環境影響評価準備書に関する部会報告（案）

はじめに

知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広域環境センター整備事業に係る環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

都市計画決定権者は、以下の事項について十分に検討し、その結果を環境影響評価書（以下「評価書」という。）に記載する必要がある。また、事業者は、評価書に記載される内容に従って環境保全に万全を期する必要がある。

1 全般的事項

- (1) 事業の実施に当たっては、準備書に記載されている環境配慮事項や環境保全措置を確実に実施することはもとより、事業実施区域近傍における他事業により複合的な環境影響が懸念されることも踏まえ、環境保全対策に関する最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減に努めること。
- (2) 環境への影響に関して新たな事実が判明した場合等においては、必要に応じて適切な措置を講じること。

2 大気質、騒音及び超低周波音、振動

- (1) 事業実施区域の西側に住居等が立地していることから、事業の実施に当たっては、より低公害型の機械等の積極的な導入を図るとともに、これらの配置及び稼働時間帯等に配慮することにより、建設機械の稼働等及び機械等の稼働に係る騒音等の更なる低減に努めること。
- (2) 工所用資材等運搬車両及び廃棄物運搬車両が走行する道路沿道では、道路交通騒音が現状で環境基準値を上回る地点があることから、工事の実施及び施設の供用に当たっては、沿道環境への影響をより一層低減するため、低公害車の積極的な導入、走行車両台数の平準化や抑制、エコドライブなど、環境保全措置を徹底すること。
- (3) 水俣条約の的確かつ円滑な実施を確保するため、大気汚染防止法の一部を改正する法律（平成 27 年法律第 41 号）が施行され、廃棄物焼却炉から大気中への水銀の排出規制が開始されたことから、ごみの分別回収の徹底による水銀使用廃製品の混合防止など可能な限りの水銀の排出抑制に努めること。

3 水質、地盤・土壌、地下水の状況及び地下水質

- (1) 現地調査により判明した土壌汚染及び地下水汚染について、工事着手前に土地の形質変更部分に対する土壌汚染の詳細調査等を実施した上で、それらの調査結果を踏まえ、汚染土壌の除去等の措置を適切に行うこと。
- (2) 工事中に発生する濁水やコンクリート工事に伴うアルカリ排水について、仮設沈砂池等の設置及び維持管理を適切に行うこと。なお、土壌汚染の詳細調査等の結果を踏まえ、仮設沈砂池等の設置位置等を選定すること。

4 景観

施設の建屋や煙突等（以下「建屋等」という。）を近傍から視認した際の影響を低減するため、必要に応じて地元の意見を把握した上で、建屋等の形状、色彩等に配慮し、周辺景観との調和に努めること。

5 廃棄物等

工事中及び施設の供用時に発生する廃棄物等については、発生を抑制することはもとより、再使用又は再生利用を徹底するとともに、再使用又は再生利用できないものについては、適正に処理すること。

6 温室効果ガス等

事業の実施に当たっては、より高い発電効率の廃棄物発電設備の導入、焼却に伴う廃熱の有効利用など、温室効果ガスの更なる排出抑制に努めること。

7 その他

- (1) 評価書の作成に当たっては、住民等の意見に配慮するとともに、わかりやすい図書となるよう努めること。
- (2) 事業の実施に当たっては、各種調査結果を公表するなど、今後とも積極的な情報発信を行うとともに、住民等からの環境に関する要望などに適切に対応すること。

検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
平成30年1月26日	審 査 会	知事からの諮問 準備書の内容の検討 住民意見の概要等の検討 部会の設置及び付託
平成30年2月20日	部 会	準備書の内容の検討 住民意見の概要等の検討
平成30年3月20日	部 会	準備書の内容の検討 関係市町長意見の検討 公聴会意見の検討
平成30年4月24日	部 会	準備書の内容の検討 部会報告の検討

愛知県環境影響評価審査会知多南部ごみ処理施設部会構成員

生田 京子	名城大学理工学部准教授
大石 弥幸	大同大学情報学部教授
片山 直美	名古屋女子大学家政学部教授
○酒巻 史郎	名城大学理工学部教授
田代 むつみ	名古屋大学未来社会創造機構特任講師
谷脇 弘茂	藤田保健衛生大学医学部講師
富田 寿代	鈴鹿大学国際人間科学部教授
◎成瀬 一郎	名古屋大学未来材料・システム研究所教授
西田 佐知子	名古屋大学博物館准教授
橋本 啓史	名城大学農学部准教授
山田 佳廣	三重大学大学院生物資源学研究科教授

◎部会長 ○部会長代理

(敬称略、五十音順)